

# 東京都相談支援従事者研修について Ver.4

## 相談支援専門員の基本理念

相談支援専門員の基本理念は、すべての人間の尊厳を認め、いかなる状況においても自己決定を尊重し、当事者(障害者本人及び家族)との信頼関係を築き、人権と社会正義を実践の根底に置くことである。

「骨格提言」から

## 都の研修が養成を目指す相談支援専門員像

### 東京都の障害者支援をめぐる地域課題

- 知的障害者の都外施設問題
- 精神科病院の地域偏在
- 中途障害者の社会復帰支援不足 など

### 基本姿勢①

本人の思いや願いに寄り添い、あたり前の生活を支える本人中心支援を行う

### 基本姿勢②

障害を社会の状況・環境との関係の中で理解し、とらえることができる

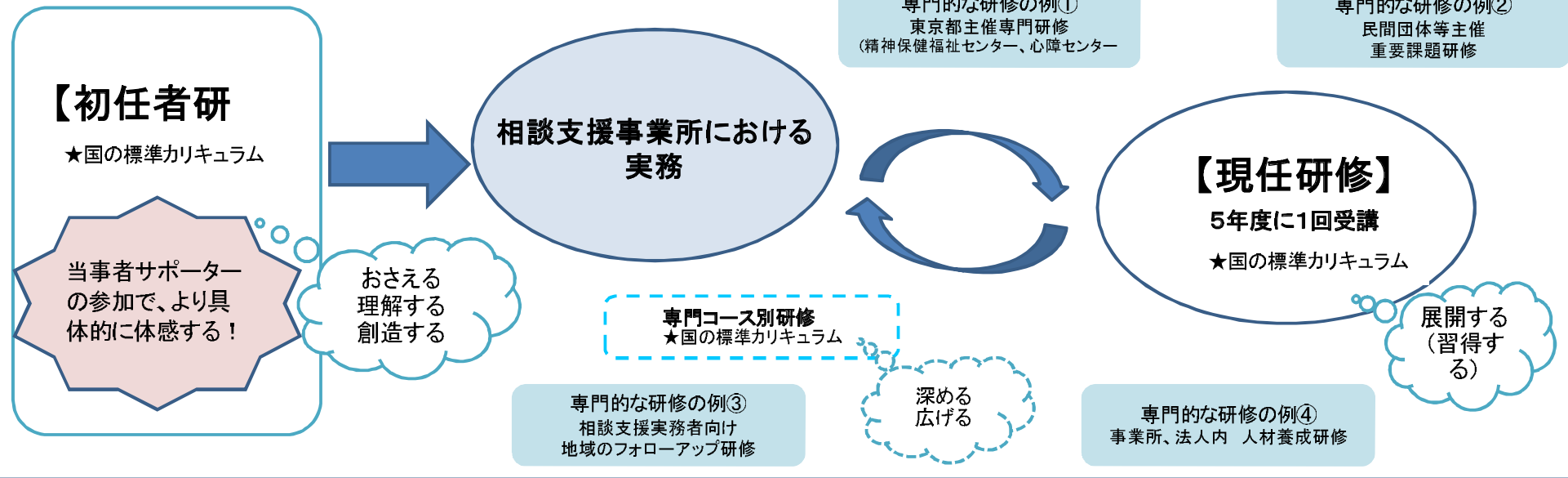
### 基本姿勢③

フィールドとする東京都および区市町村の地域性の把握と、地域福祉の向上に努め続けることができる

## 相談支援専門員として必要とされるスキル

- ①本人と信頼関係を構築する力がある
- ②基本的な面接技術に習熟している
- ③ニーズを明確にするアセスメント力がある
- ④わかりやすい計画を立案できる
- ⑤サービス提供者等と協働する力(交渉・調整)がある
- ⑥個別支援で得た地域課題を協議会等のネットワークを通じて積極的に発信・共有できる  
(地域での人材養成の担い手となる)
- ⑦まだ出会っていない、支援を必要としている人々の存在を想像できる

## 【「目指す相談支援専門員像」のために東京都が行う研修イメージ】



※ 障害者支援に関わる人材養成の課題の検討は、第四期東京都自立支援協議会のテーマである。  
 ※ 初任者研修受講と、5年度に1度の現任研修受講は、相談支援専門員として従事するための要件である。  
 ※ 障害者総合支援法に基づく研修は、東京都のほか指定された団体が実施できる。

※ 初任・現任研修検討会は、厚生労働省指導者養成研修受講者、東京都立(総合)精神保健福祉センター  
 研修担当部署、東京都心身障害者福祉センター地域支援課地域支援係から構成されている。

# 初任者研修・現任研修のねらいと到達点

## 初任者研修

以下のねらいを理解し相談支援専門員の役割と動きを考える

## 現任研修

現任者として相談支援専門員の役割を自覚し動くことができる

基本的な考え方

ケアマネ  
ちいさな

ケアマネ  
おおきな

講2、3

### 障害者ケアマネジメントの理念をおさえる

障害は社会の状況・環境との関係でとらえるものと理解している

講II

#### 本人主体・ニーズ中心・エンパワメントとは何かを理解する

本人の声をきちんと聴くことができる  
本人の強みや本人の力を高めることに着目できる

演3~5

#### 柔軟な発想で本人の望む暮らしを共にカタチにする

障害者の暮らしの具体的なイメージを描く体験をする

演6~9

#### フィールドとする地域にある資源を把握し、ないものは創造することを考える

個別支援の中から地域課題を見出し、地域・行政に返していく役割があることを知る  
相談支援専門員として地域像を描く体験をする  
個別のニーズから、「あったらいい」資源を発想することができる

講5、7

演6

講II

#### 本人の意向に寄り添い、望む暮らしを実現する個別支援の理解を深める

本人主体、ニーズ中心、エンパワメントを意識した個別支援を行う  
柔軟な発想で本人の望む暮らしを共にカタチにする  
本人にわかりやすい言葉で説明し、具体的な生活のイメージをケア計画として提示できる

演I~III

#### 地域づくりに積極的に参画し、地域や制度を変えていく方法を展開できる

既存の制度や資源にとらわれず、ソーシャルアクションをおこなうことができる  
地域のネットワークに参画し、個別課題を地域課題として共有していくことができる  
基幹相談支援センター、自立支援協議会の役割を理解し、連携することができる  
地域における更なる相談支援体制の構築・推進について中核的な役割を担える

講IV

演IV~VI

知識・技術

#### 制度の成り立ちと概要を知る

障害者総合支援法等の制度の概要をおさえる  
制度の成り立ちと歴史的背景をおさえる

講1、2、4

#### 相談支援専門員として現場に出るための初歩的な技術を学ぶ

サービス等利用計画の法的な位置づけと必須項目を理解している  
サービス管理責任者(個別支援計画)との違いを理解している  
インテークからケア計画作成までのプロセスを体験的に学び理解している  
関係者と連携するのに必要な話し合いのコツを理解している

講6、8

演1~13

#### 制度の最新状況を理解する

地域移行・地域定着の実践を知り、実務に活かすことができる  
セルフマネジメントの意義と課題を理解している

講I、III

#### 経験の異なるメンバーによる演習を通じ、ファシリテーション(とスーパービジョン)の重要性を経験する

本人、関係者とのケア会議等を円滑に運営するための技術が身についている  
事業所の指導的職員として、職員会議等を効率的に運営する技術を習得している  
(新任職員にスーパーバイズできる力をつける)

演I~VI

F研

#### 地域での人材育成の担い手を養成する

(地域の課題を整理し、必要とされる研修を企画・検討できる)

(F研)

交流

#### 都内の相談支援専門員同士がつながるきっかけとする

地域を超えた支援者とつながることができる

演1~13

#### 都内の相談支援専門員同士がつながり交流する機会とする

事業所や地域を超えて交流し、実務の工夫を学びあうことができる

演I~IV